



水俣市における地震の想定

東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）を踏まえ、平成23年度から平成24年度にかけて地震・津波被害想定調査を実施しました。そこで、熊本県が実施した水俣市における地震・津波の調査結果をお知らせします。

被害想定の対象地震

県の調査では、①布田川・日奈久断層帯、②万年山・崩平山断層帯、③人吉盆地南縁断層帯、④出水断層帯、⑤雲仙断層群、⑥南海トラフの、6つの地震を対象に被害想定がされました。地震による本市への被害が推定される結果は次のとおりです。

No.	対象断層帯等	【想定地震の震源域】	地震の規模 (マグニチュード)	30年以内の発生率
①	布田川・日奈久断層帯	中部南西部の連動型	M7.9	不明
②	万年山・崩平山断層帯		M7.3	ほぼ0~3%(最大2.6%)
③	人吉盆地南縁断層帯		M7.1	1%以下
④	出水断層帯		M7.0	ほぼ0~1%
⑤	雲仙断層群	南東部単独	M7.1	不明

地震調査研究推進本部 地質調査委員会 発表

⑥	南海トラフ	M8~M9クラス	70%~80%
---	-------	----------	---------

内閣府 中央防災会議 発表

水俣市における震度予測

断層帯等を震源とする地震が発生した場合の水俣市における最大想定震度は、以下のようになっています。

断層帯等	最大想定震度
布田川・日奈久断層帯	6強
万年山・崩平山断層帯	3
人吉盆地南縁断層帯	5強
出水断層帯	6強
雲仙断層群	4
南海トラフ	5強

※6強…はわなないと動くことが出来ない。飛ばされることもある。
※5強…物につかまらなると歩くことが難しい。



地震が起きたらどうする

地震はいつ起こるか分かりません。地震が発生したとき、被害を最小限におさえるには、一人ひとりがあわてずに適切な行動をすることが極めて重要です。

